

松江城

松江城は、松江市の中心部にそびえ立つ、荘厳で堂々とした丘の上の城郭です。江戸時代（1603-1867）初期の1611年に完成した城で、その大きな切妻が、鳥が飛んでいる様子に見えることから「千鳥城」と呼ばれることもあります。木造の主要構造物が現存している城は、日本には松江城を含めて12城しかありません。日本のほとんどの城と同じく、防衛や政治上の必要性が変わるにつれて、徐々に拡張と改修が行われました。しかし、天守閣は1740年代からほとんど姿を変えていません。

一家代々の統治

松江城の建築は、地元の大形で松江の街を作った堀尾吉晴（1542-1611）の指揮のもと始まりました。松江城はその後、京極忠高（1593-1638）に渡り、彼が後継ぎ無しに亡くなった後、将軍徳川家康（1543-1616）の孫である松平直政（1601-1666）が受け継ぎました。直正は松江藩の初代大名となり、これによって、松江には長期にわたる文化的・経済的繁栄が訪れました。1871年に明治維新によって藩制度が廃止されるまで、松平家は10代234年の間松江城の城主であり続けました。ほとんどの日本の城は、1873年の新政府からの指令を受けて破壊されましたが、人々と地元指導者の資金集めと意見表明のために、松江城の本丸は保存されました。松江城は1950年代に全面的に改修され、2015年に国宝に指定されました。

防衛に最適な立地

松江城は、陸からも宍道湖からも攻撃されにくく、近くを流れる多くの輸送用の水路にもアクセスしやすい立地にありました。堀が掘られ、そのほとんどは現存しています。掘った際の土砂は、城の西側の沼地を埋め立てるのに使われました。大橋川がさらに天然の防衛線となりました。日本の城は典型的には段々の防衛区画に分かれていましたが、松江城の場合にも3つの区画があり、その中でも本丸は最も高く安全な場所にありました。二の丸は、城主の本邸や公務のための建物がある上層部と、兵舎がある下層部に分かれていました。最下段の三の丸にも、高官の居住区が設けられました。これらの建物は全て、明治時代（1868-1912）に破壊されました。二の丸の上層部には、1899年に神社が建てられ、1903年には洋式の迎賓館が追加されました。島根県庁は現在、三の丸の跡地に立っています。

松江城の巨大な石垣はほぼ現存していますが、1870年代に数多くの門などの構造物が取り除かれました。1960年と1994年にはいくつかの門が再建され、2001年には、石

垣の上に白漆喰の防火見張り櫓が3棟再建されました。

革新的な設計上の特徴

松江城の最大の魅力は、保存状態の良い天守閣です。外から見ると、本丸は石を斜めに積み上げた基礎の上に4階建てで建てられていて、上に行くに従って小さくなるように見えます。本丸は黒い塗料が塗られた木板で覆われ、それに防火用の白漆喰がアクセントとなっています。幾重にも重なる屋根や切妻は外観を際立たせ、また内部の空間を守る役割も担っています。最上階の屋根の上には、銅板でできた「しゃちほこ」と呼ばれる神話上の海の生き物の形をした装飾があります。正面入口は、それ自体で小さな城のように見える安全な屋根付きの建物の中に設けられています。

外観とは異なり、本丸は地下1階を加えた5階建てになっています。本丸には普通は見られないような特徴が数多くあり、これらは建築にあたって直面した問題を解決するために考えだされた革新的なものです。

松江城が築城された17世紀前半には、日本各地で城の築城が進められていたため、森林の伐採が進んでいました。そのことによって松江城の構造柱に用いられる大木の入手が困難であったため、設計者は鉄製の留め金や締め具で小木を束ねたものを用いました。130本のこのようなタイプの柱をはっきり見ることができます。

さらに構造を安定させるために、柱は1階分だけを支えるのではなく、2階分を貫くように配置されました。これらの「貫通柱」の組は、垂直方向に互い違いになるように配置され、強固な組み込み構造を形成しています。また、短い柱を水平の梁でうまく支えることで構造荷重を分散させ、長い柱を不要にする工夫もされています。それ以外に、軽量の桐で作られた着脱式の内階段を採用し、簡単に引き上げて上の階への侵入を防ぐ工夫もされていました。また、地下には貯蔵庫を設け、城が包囲されても安定して水が得られるように井戸が掘られました。これは城の棟内に井戸が掘られたものとして日本で唯一知られている事例です。

藩内の眺望

今日松江城を訪れると、各階に多言語で歴史や城の設計上の特徴に関する情報盛りだくさんの説明があります。見張り場として使われた最上階には、全ての方向に幅広い窓があり、穴道湖、近くの山々、そして眼下に広がる街の眺望を一望できます。これは松平家の歴代大名が何世紀にもわたって見続けてきたのと同じ景色です。